



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

福は内!
2月号

福玉便り

2016年2月1日発行

ふく たま だ よ り

通巻 第45号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

シンポジウム

震災から5年、広域避難者の生活と支援を考える

日時:2016年2月27日(土) 13:30~16:30

参加費無料、申し込み不要です。
直接、会場に起こしてください。

場所:市民会館うらわ(さいたま市浦和区仲町2-10-22)コンサート室



内容

- 県外避難者と支援の現状と課題
～福玉便り、福玉会議の5年を振り返って～
- 自主避難者と支援の現状と課題
～「ぼろろん♪カフェ」の活動などを中心に～
- 埼玉県内の避難者支援団体、当事者団体の紹介とアピール
- 県外避難者への復興支援員の活動紹介
～福島県・浪江町・富岡町・大熊町・双葉町～
- 「埼玉広域避難者支援センター」の紹介

2011年の東日本大震災と福島第一原発事故から5年になります。埼玉県やその周辺の自治体には、5000人以上の方が避難されています。津波被災地や原発事故周辺の自治体からの避難者にとどまらず、放射線による子どもなどへの健康を留意して自主的に避難をされてきた方など、さまざまな避難者の方がいらっしやいます。

私たちは本誌『福玉便り』や当事者・支援者が集まる『福玉会議』を開催などを通じて多様な避難者の方々と出会い、話し、ともに悩みながらさまざまな活動を行ってきました。その中で、支援の内容、方法も常に変化し、かつ多様な支援を模索する難しさも感じてきました。そして、残念ながら原発事故による避難の問題は、そう簡単に解決できるものではありません。

そこで、これまで培ってきた支援活動を発展させ、さらに長期にわたるきめ細かい支援、地域と地元の両方につながるための支援を目指して、新たに「NPO法人埼玉広域避難者支援センター(通称:福玉支援センター)」を設立することにいたしました。

この設立に合わせて、シンポジウムを開催いたします。広域避難者の現状をあらためて確認し、これまでの活動を振り返り、今後の支援のあり方について、さまざまな立場の方と一緒に考える機会にしたいと考えております。多くの方々のご参加をお待ちしています。

主催:埼玉広域避難者支援センター(NPO法人認証申請中)/一般社団法人埼玉県労働福祉協議会/福玉便り編集委員会

共催:認定NPO法人ハンズオン埼玉 震災支援ネットワーク埼玉(SSN) さいがい・つながりカフェ実行委員会

後援:埼玉県(申請中)、法政大学人間環境学部(申請中)、立教大学コミュニティ福祉研究所(申請中)

埼玉県上尾市シラコバト団地被災者の会ひまわりによる

東日本大震災追悼式 2016年3月11日(金)

東日本大震災発災から五回目の黙祷の会を開催します。
同じ思いを持つ皆様のご参会を賜りますようお願い申し上げます。

14:00 第一部「黙祷の会」 シラコバト 団地ぞうさん公園

※下記の注意点に留意し、タイムカプセルに入れる物をご持参下さい。写真、手紙、絵、DVD等厚みのないもの、震災、復興、被災地、シラコバト団地に関するもの、名前・住所(連絡先)を記入
開封は10年後です。

15:30 第二部「語らいの集い」 シラコバト 団地第一集会所

※粗宴の用意をしております。

JR高崎線桶川駅より徒歩20分 北上尾駅より徒歩15分
住所:上尾市大字上370番地※団地内駐車場有



主催:東日本大震災に咲く会 ひまわり

問合せ:シラコバト団地自治会 048-607-6723/
橘(タチバナ)080-3091-6215

復興支援員さんから

浪江町復興支援員 佐藤淳一

昨年一年間で207名の方のお話を聞いてきました。5年も経てば全員『5歳も年をとる』と言う事で、実際こ

数年いらして、『平成28年7月の住宅完成まで待てないよ』と言う声もありました。

でも来て頂いて、楽しくおしゃべりをしてもらう、『近くに誰が避難して来ているか、わからない』を少しでも解消してそこに馴染めるように、地元社協の方や民生員の方も来て頂こうと思っ

ている人が多く、『元気で浪江に帰るため』と毎日散歩をして体力を維持されている70代半ばの方や、エアロバイクを買って自宅でこいでニコニコしている80歳代の方、避難後、脳梗塞で倒れた後に近所のラジオ体操に毎朝参加されて頑張っている70歳代の方などがいて、とても勇気を頂きました。

訪問先で心配だったことは、介護疲れによる心労です。40歳代のご夫婦では、避難後、奥様の具合が悪くなり、始めは、仕事をしていただけ旦那さんが子供たちを見ながら、奥様の看病をし、仕事にも行けなくなりました。

『繋ぐ』ことも私たち支援員の使命の一つです。浪江町とつながるのはもちろんの事ですが、加えて、避難先の周囲の方とどうやって仲良くなるか、つなげるかと言うのも、これからの長い長い避難生活には必要な事と考えています。

また、避難先で住宅を購入入されている方も、私たちが担当する埼玉・東京エリアで62件あり『もう戻りません』という方と、『ここは飯の住まいだから必ず浪江に帰る』という方がいらっしやいました。浪江の自宅も、解体を申し込まれた方、『直して絶対に住む』と、修繕を考えている方も案外多く、自分も浪江の家を直そうと思いました。

『浪江にいれば、死なずにすんだのになあ』という言葉、何度も聴いて涙しました。

『浪江町でやっていた事を、避難先でもやっている人は元気が良い』のも事実です。私たち支援員も避難者で、何をどうやって、どこから手をつけていいものか、まだまだ模索中で未熟者ですが、訪問先での皆さんの笑顔だけが、『パワーの源』です。『これからの人生、明るく、楽しく、元気に生きて行ければなー』と強く思います。

復興公営住宅に申し込まれた方、引っ越された方も

今年も、一度も会えなかった人に、特にアプローチして行く予定です。また、サロンも、定期的なサロンに加えて、『出席したいけど、近くにないので参加できない』人のための『ファミレスサロン』を始める予定です。住んでいる方の、近所のファミレスに一人でも二人

これからも、宜しくお願ひします。

いわき復興公営住宅 現地見学バスツアー₂

今回のバスツアーでは、いわき市のモデルルームを見学し、下神白にある復興公営住宅を訪ねました。

モデルルームでは、実際の間取りに合わせた生活をイメージする事ができました。



下神白住宅では、今住んでいる方々が集まってくださり、集会所にて互いに自己紹介をしたり、最近の取り組みなどを報告しあったりと交流会を開いて下さいました。

また、この住宅とその近くには、以前埼玉県に避難していらしていた方が、帰還して久しぶりの再開で、話に楽しい花が咲いていました！

富岡町や双葉町、浪江町、大熊町の方々がそれぞれに自治会を立ち上げているが、普段は集会所を拠点に、各町の方々が一緒に交流しているそうです。

さらに、思いがけなく職場で一緒だった人との再会や、お世話になっていた人との再会もあり、懐かしく嬉しい思いに触れる事ができた1日でした。



(福島県復興支援員・富永まゆみ)

くまがや結の会」誕生しました！

熊谷市では、

2011年10月以来、「ふるさと交流サロン」が2カ月に1度の頻度で活動を行っていました。しかし参加者の固定化や減少が続き、昨年2月の開催を最後に、一旦幕を降ろしました。3年半の活動を終え肩の荷が下りほっとしたもの、一方で熊谷に住居を求める方は増えて昨年で10世帯以上となり、この方たち数名と時々



ランチをしています。

その中で「忘年会をしたいね」という話が出てサロンのメンバーに声掛けしたところ12名が参加、久しぶりに楽しいひと時を過ごしました。

た。その場で「これからまた集まりたい」との希望が出て、急遽、林崎さん(南相馬市)に新しい会の会長をお願いしました。

予期せぬ展開に戸惑いもありましたが、機は熟したと感じて年始めに林崎さんと役員で打ち合わせを行い、会の名前が「くまがや結の会」に決まりました。

そして、1月16日に第1回新年交流会を開催し、14名の参加がありました。1年の空白を経て、再会の喜びが会場を包み込みました。「さすけねー」を合言葉に、新たな一歩を踏み出しました。

(駒宮淳子)



2016.01

浪江町『花のまち実現化事業』と

して、花卉研究会の代表、NPO法人J-I-N川村博さんの圃場で栽培された花を東京駅前で開催するPRイベントが2015年12月18日にありました。

我が家が避難している鴻巣市は「花の町」として、ほとんど一年中花のイベントがあります。でも浪江町は『あの日』から、町並みに彩りが無くなり、荒廃していくばかり。それでも、いつか浪江町も花いっぱいになるといいな…そんな想いで、花卉研究会の会議に参加させて頂くようになり、私以外はみな福島県内に避難中。イベントスタッフの方が沢山いてくださいましたが、せっかくなので東京でのイベント。懐かしの方々にも逢えたらいいな、という想いも併せて、チラシ配りや花

どこにいても浪江町民

束づくりをお手伝いしました。当日は馬場町長の挨拶に加えて、浪江町復興支援員の方々も駆けつけて下さいました。副町長は応援メッセージをぜひ！と沢山の方に声掛けしてくださっていました。風化しているのを感じた一方で、温かいメッセージやお声掛けも頂きました。

トルコキキョウの花言葉は、『希望』。そして、ストックの花言葉は『きずな』。

《どこにいても浪江町民》…これが今の浪江町の花言葉。
「やっぱり浪江が好き！ 色々な〇〇がなくても、あの町もあの家もずっと大切な故郷」と、そう思ってもらえるような風景や交流の場作りに関わっていきたくと思います。

(「想い」篠原美陽子)



福島県浪江町
浪江の芽吹き
咲き誇る希望

浪江は美しい、ハナミコメマサキへ、
願わくはこの希望の花が、
あなたにも届きますように。

浪江町役場 産業振興対策課 農林水産課
TEL 0243-62-1107
URL: <http://www.town.namie.fukushima.jp> Facebookページ「つなごろうなみえ」
<https://www.facebook.com/tunagorou.namie>





新座さいがいつながりカフェ参加者の皆さん(10月撮影)

ひろば

避難中の皆さんのお話を伝えるコーナーです。

※あなたの声をお待ちしています。

編集部までお寄せください。

昨年10月10日と11月14日に、福玉編集部・原田のゼミ生たちが、新座さいがいつながりカフェにお邪魔させていただきました。そこで参加者の本田さんにお話を聞かせていただきますので、ご紹介いたします。

本田正子さん

(南相馬市小高区から新座市に避難)

私は震災当時に小高老人福祉センターで働いていました。3月11日は、たまたま利用者さんが早く帰られて、誰もいなかったのが幸いでした。皆さんが無事だったことが良

かったです。あまりの揺れの大きさを何も手につかず、その日は頭がバニクになり、憶えています。ただ余震が続き、一晩中怖くて眠れませんでした。次の日の夕方、防災無線の指示があつて原町区中学校の体育館に避難しました。二三日くらいで戻れると思ひ、パパと手提げついで避難して、そこからずっと帰れない状況になりました。

子どもたちが東京と埼玉に住んでいて、生まれたばかりの孫にも会っていないので、車で向かいましたが、ガソリンを給油できずに引き返しました。途中の二本松にたどり着き、ようやく民宿に泊まることができました。四泊くらいしてお金がなくなり、体育館に移りました。そこからまた福島のホテルに移動しましたが、三カ月くらいでまた出なくてはならなくなりました。パパの病院通いもあり、東京の都

営住宅や埼玉の県営住宅を探しましたが、都営は募集期間が終了して入居できませんでした。その最中、新座に住んでいる娘からたまたま電話があり、事情を話したところ、新座市の国家公務員宿舎が空いていることがわかり、お世話になることになりました。5度目の避難になりました。現在は仮住まいです。こちらでさいがいつながりカフェに出るようになり、自分と同じ所から来ている人がいて、心強く思いました。話も分かるし、一緒に頑張っていけるような気持ちになりました。

子どもたちが東京と埼玉に住んでいて、生まれたばかりの孫にも会っていないので、車で向かいましたが、ガソリンを給油できずに引き返しました。途中の二本松にたどり着き、ようやく民宿に泊まることができました。四泊くらいしてお金

二年目でやっと試験に合格しました。27年度はマンション管理士と管理業務主任者の試験を受けました。1月15日と22日に発表の予定です。ただ、こちらに慣れてきても、やっぱりふるさとが一番いい所です。落ち着くというか、空気がみさというか、「ふるさ」として歌がありますが、あれを聞くと涙が出てきて、しばらく歌えませんでした。

だんだん慣れてくるにつれ、何か新しいことを始めようかと思ひ、近くの福祉の里で週1回のフラダンスを始めました。田舎にいたときはシルバークン材センターを通して働いていましたし、ボランティア活動も積極的にやっていましたので、充実した毎日を送っていました。自宅の庭には季節の花や花壇を作つて楽しく生活していました。そういうこともあつて、宅建の試験を勉強して国家試験に挑戦しました。

いけません。特に溜楸に流れていく所が高いです(約1マイク ロシーベルト)。今まで子供たちや孫たちも年に二回、お盆と正月に会いに来ていましたが、「放射能が怖くて福島へ遊びに行かれない」と言われたことが番悲しく思いました。でも、私たち夫婦は復興住宅に移つたら、時々自宅に行つては片付けをして、水回りも修繕していこうかと思つていま

た。南相馬市小高区の自宅は宅地建物の除染は終わつても、生活道路はまだ終わつていません。特に溜楸に流れていく所が高いです(約1マイク ロシーベルト)。今まで子供たちや孫たちも年に二回、お盆と正月に会いに来ていましたが、「放射能が怖くて福島へ遊びに行かれない」と言われたことが番悲しく思いました。でも、私たち夫婦は復興住宅に移つたら、時々自宅に行つては片付けをして、水回りも修繕していこうかと思つていま

牛山先生の甲状腺画像診断説明会@ここカフェエ川越

昨年11月29日、ここカフェエ川越に、牛山元美医師が、甲状腺画像診断の説明会に来てくださいました。その時のレポートをお届けします。(ここカフェエ川越/鈴木直子)

当日は、30名近い避難者・支援者の方が集まってくださり、会場の和室はいっぱいでした。子どもたちもたくさんいたので、みんなで和室の隅で、一緒に遊びながら待ち、内容は深刻なテーマでしたが、子どもたちの声に救われながらの、にぎやかな説明会になりました。

福島県立医大の県民健康調査の

甲状腺検査は、狭山の病院で受診しました。親が立ち会い「何か異常ありましたか？」と尋ねても、「詳細は福島医大から書類にて郵送しますので、こちらからは何も申し上げられません」の一点張りです。エコーで嚢胞の数値を計測しているのに、嚢胞の有無も教えてくれないので不安は募るばかりです。



た。現在は、診察時に話をしてくれることもあるのですが、1回目の受診ではそれは叶いませんでした。

郵送された福島県立医大の書類には、A1からCまでの判定と嚢胞の個数と大きさしか記されていませんでした。受診時にも詳しい説明が無かったので不安は増すばかりでした。

そこで、開示請求をしてエコー画像を取り寄せましたが、素人には判断が付きません。専門家に聞いてみたいと思いつつ、時間が経ってしまいました。

今回の説明会では、牛山先生が、パソコンでエコー診断の動画をみながら、参加者みなさんに説明してくださいました。その説明はともわかりやすく、嚢

胞と結節の違いと大きさなど詳しく理解できました。検査の資格もおもちで、甲状腺学会の会議にも出席されているようで、安心して話を聞くことができました。

大切なのは、定期的

なエコー検査と血液検査だと感じます。データを残すことが重要で、初期被爆してしまった事実は消せないのだから、今後の対応が親としての責務であるし、万が一、癌化してしまっても早期発見で転移を防げるのではないかと、と勇気づけられた思いでした。

よくチェルノブイリと比較されますが、福島の風土も食べ物も放射性物質の放出量も違うので、同等に比較は難しいし、まだまだ福島の場合は未解明なので、本当にデータの蓄積が大事だと感じました。検査結果に一喜一憂しないで、冷静に対応することが大事で、疫学検査にも参加したいと思いました。甲状腺検査の会場は、埼玉の場合は一か所で、そこへ行くのも大変ですが、必要な検査だと思えます。

専門の方に自分の子供の画像を診断してもらうことで、今までの不安が解消されたようで、参加してとても心が楽になりました。今後、福島県立医大にも患者のおもいに寄り添った県民健康調査を行っていたらいいと思いました。

〈古居みずえ監督から〉

飯館村を訪ね、最初にそこで見たものは、牛を飼っていた母ちゃんたちが自分の子どものように育ててきた牛を放射能のために殺処分しなければならず、手放す日でした。「誰のせいなのよ?」「なんでこうなるの?」と顔見知りでもない私に向かって、必死に訴えかけた姿は今も心に焼き付いて離れません。その日に立ちあつたことで、それを見たことで、私は飯館村のことを撮り続けなければならないと思いました。



●さいがい・つながりカフェあれから5年、そしてこれから

映画「飯館村の母ちゃんたち」

ダイジェスト版上映&古居みずえ監督トーク会

3月22日(日)13:30-15:30

会場:埼玉県男女共同参画推進センター(With Youさいたま)セミナー室

私たちは毎月2回「さいがい・つながりカフェ」を開催するとともに、毎年3月に「あれから〇年、そしてこれから」というタイトルで、東日本大震災と原発事故を忘れず、考え続けていくための場を作ってきました。今年は、福島県飯館村の母ちゃんたちの生きざまを4年間かけて追いつけた古居みずえ監督のお話を聞き、映画を観て語り合いたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

主催:さいがい・つながりカフェ実行委員会
参加費無料・申し込み不要・会場に直接どうぞ!

※この企画は、WCRP Japanの助成金によって運営されています。

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ
 定例月1回
 2/4(木)、3/3(木)
 9:30~11:30
 定例サロン
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 080-5532-7380(薄井さん)

4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉
 寄り添いステーション騎西
 加須市正能11-5
 090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場
 2/27(土)10:00~14:00
 騎西コミュニケーションセンター
 3階
 k_sakamoto@seigakuin-univ.ac.jp
 (坂本さん)

6 負けねっちゃきらり
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
 伊奈町 ☎ 090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
 時々交流会しながら、つながって行きましょう
 (*^o^)/^(^-*)
 向原団地集会所
 上尾市 ☎ 080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 シラコバト団地を中心に情報交換会と物資配布を行っています。
 毎月第1土曜日
 2/6(土) 会合 10:00~12:00
 シラコバト団地第二集会所
 3/5(土) 会合 10:00~12:00
 シラコバト団地第一集会所
 3/11(金) 東日本大震災追悼式
 詳細は1ページ
 上尾市 ☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橘さん)

10 ふるさと交流サロン
 21回で閉会しましたが、再会の機会をつくりたいと思います。
 熊谷市 ☎ 080-5430-5452(駒宮さん)

12 お茶っこふるさと会
 毎月第4 週水曜日10:00~12:00
 2/25(木) 味の素料理教室(富岡町おたがいさまセンターとの共催)
 11:00~14:00
 久喜市鷲宮コミュニティセンター(おおとり)
 持ち物:エプロン、三角巾
 会費:200円
 ☎ 090-6855-7140(木幡さん)

11 羽生つながりカフェ
 パーブル羽生
 羽生市 ☎ 080-5532-7380(薄井さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
 定例サロン毎週木曜日13:30~15:30
 国家公務員宿舎杉戸住宅
 (つつじの里サロン)杉戸住宅6-301
 ☎ 0480-33-3455(佐藤さん)

14 春日部つながりカフェ
 2/4(木)、3/3(木)13:30~16:00
 コーププラザ春日部2F第1会議室
 ※※法律家・心理士参加予定。法律・こころの相談できます
 048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
 月1回 参加費無料12:30~16:30
 2/21(日)、3/20(日)
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
 ☎ 090-2433-6057(廣瀬さん)

16 越谷避難者の会
 越谷市 ☎ 090-9425-2001(石上さん)

26 お茶飲み交流会
 市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。隔月1回 10:00~12:30
 2/13(土) 新年会(カラオケで楽しく歌いましょう)
 12:00~16:00 カラオケ恵
 主催:東日本大震災復興支援ボランティア「えがお富士見」
 ☎ 049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

21 梨の実スペース
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください!金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。
 毎週金曜日10:00~16:00
 大熊町コミュニティ支援関東事務所
 さいたま市浦和区仲町2-15-4
 ☎ 048-711-7135

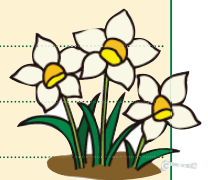
22 浪江のしゃべり場
 浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
 月曜日~金曜日10:00~17:00
 浪江町復興支援員 埼玉事務所
 さいたま市 ☎ 048-833-8731(埼玉労福協)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)
1 1月28日(木)13:00~15:00
 福島県復興支援員埼玉事務所による相談会・交流カフェ
 さいたま市西区西部文化センター 048-814-1111/080-8764-7927

27 おあがんなんしょ
 2/21(日) 新年食事会
 13:00~ (天七(駅から徒歩3分))
 3/27(日)
 前半...中央公園で花見
 後半...フクトピアにて「おあがんなんしょの思い出ビデオ」
 ☎ 090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
 心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。
 毎月1回10:00~15:00
 2/17(水)10:00~15:00
 鶴ヶ島活動センター(わかばウォーク1階)
 070-5080-4494(鈴木さん)

1日(月)	
2日(火)	
3日(水)	
4日(木)	13 3 17 14
5日(金)	21
6日(土)	8
7日(日)	
8日(月)	
9日(火)	
10日(水)	
11日(木)	13
12日(金)	21
13日(土)	24 26 2
14日(日)	
15日(月)	
16日(火)	
17日(水)	18 28
18日(木)	13 1
19日(金)	21
20日(土)	
21日(日)	27 15
22日(月)	
23日(火)	
24日(水)	
25日(木)	13 12 19 ★
26日(金)	21
27日(土)	5 3 4
28日(日)	25
29日(月)	



- 2** 2月13日(土)被災者支援オーガナイザーワークショップ→詳細8ページ
- 3** 2月27日(土)シンポジウム 震災から五年、広域避難者の生活と支援を考える→詳細1ページ
- 4** 2月27日(土)首都圏避難者の生活再建への道→詳細8ページ
- 5** 3月11日(金) 東日本大震災追悼式→詳細1ページ
- 6** 3月20日(日)「日本と原発 4年後」上映会→詳細8ページ
- 7** 3月22日(日)さいがい・つながりカフェあれから5年、そしてこれから 映画「飯舘村の母ちゃんたち」→詳細5ページ

福玉便りのお届け作業を一緒にやったださる方、大募集! 2月25日(木)
 13:30-16:00ごろ可能なお時間で。場所:埼玉労福協(ときわ会館4F)印刷などの都合で日程が変更になる場合があります。できれば、「ご一報・ご確認」いただければ幸いです。労福協048-833-8731まで

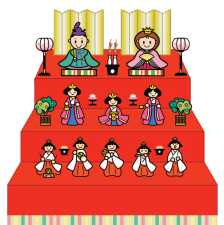
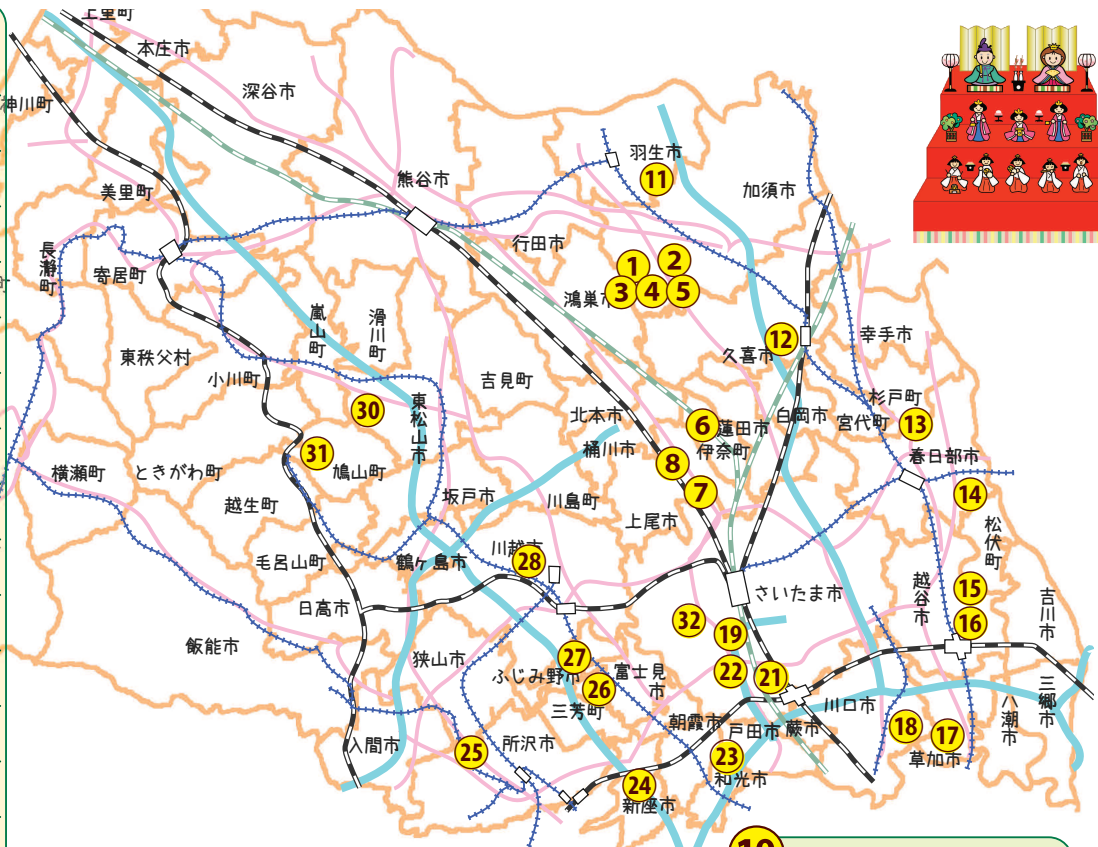




1 双葉町民によるボランティアカフェ
 月1回 10:00~15:00
 2/18(木)足湯・手作り味噌 ※味噌作りは有料・要申し込み・エプロン持参
 3/17(木)キルト作り
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市駒西501-13 048-829-7400 SSN

2 社協と地域と生協のサロン
 味噌汁とおにぎり地域の方々の情報交換の場をつくっています。お気軽にお越しください。
 毎月第3木曜日10:00~15:00
 いきいきサポートセンター
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
 加須市駒西501-13

1日(火)	
2日(水)	
3日(木)	13 3 14
4日(金)	21
5日(土)	8
6日(日)	
7日(月)	17
8日(火)	小鹿野町
9日(水)	
10日(木)	13 19 17
11日(金)	21 8 5
12日(土)	
13日(日)	
14日(月)	
15日(火)	
16日(水)	18
17日(木)	13 1
18日(金)	21
19日(土)	
20日(日)	15 6
21日(月)	
22日(火)	7
23日(水)	
24日(木)	13 19
25日(金)	21
26日(土)	
27日(日)	27 25
28日(月)	
29日(火)	
30日(水)	
31日(木)	13



17 つながりの会
 毎月第2木曜日10:30~16:30
 2/4(木)、3/10(木)東北復興支援販売 10:30~16:30物産・観光情報センター
 3/7(月)~11(金)「忘れない3・11 パネル展示」草加市役所ギャラリー
 ☎ 048-932-6770 (草加市社協)

18 ひまわりの会
 毎月開催 2/17(水)、3/16(水)
 10:00 ~ 15:00 やすらぎ会館
 ☎ 080-5431-0123 (島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
 心ゆくまでおしゃべりできます。お気軽にご連絡ください。
 月2回木曜日11:00~15:00
 2/25(木)、3/10(木)、3/24(木)
 11:00 ~ 15:00 WithYouさいたま4F和室
 3/26(土)「あれから5年、そしてこれから」詳細は5ページ
 ※2/6(土)・7(日)はWith Youさいたまフェスティバルで手作り品販売やパネル展示、7日は舞台発表(合唱)も!(笑)
 With You さいたま 4F 和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分) ☎ 048-601-3111さいがい・つながりカフェ

23 和光3・11 つながりカフェ
 東日本大震災事業~3・11を忘れないために自分ができること~
 →詳細8ページ
 ☎048-452-7606(和光3・11を忘れない実行委員会・和光市ボランティアセンター)

24 新座さいがい つながりカフェ
 月1回 土曜日13:00~16:00
 2/13(土)13:00~16:00
 国家公務員宿舎集会所
 新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん)
 ☎ 080-6023-2799 (福地さん)

25 青空あおぞら
 毎月第4日曜日
 2/28(日)13:30~16:00 健康相談 ※医師、法律家が参加。保育付き。
 3/27(日)13:30~16:00
 ※法律家が参加。保育付き。
 所沢市 ☎ 048-829-7400 (SSN)

29 鳩のつどい
 月2回 10:00 ~ 12:00
 JAXA鳩山宿舎108号鳩山町
 ☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
 ☎080-5532-7380 (薄井さん)

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。メール:fukutama@431279.com

『福玉・便り』編集委員会
 連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
 電話048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

★福玉便り発送
 2/25(木) 13:30 ~ おしゃべりしにきてくださいわ。

福玉便りお送りします。
 ご希望の方にお送りいたします。
 ご連絡お待ちしております。

被災者支援オーガナイザーワークショップ

～課題解決のためのケーススタディ～

【日付】2016年2月13日(土)

【会場】武蔵浦和コミュニティセンター第4集会室

【交通】JR「武蔵浦和」駅西口よりデッキ直結(徒歩2分)

【概要】再建を目指す避難者の方々にとって、その道のりは険しい状況にあり、多くのお困りごと、悩みを抱えていらっしゃいます。講座では、具体的な事例をもとに、どのようにご相談に対応するか、抱える問題を解決するために、専門家/専門機関など、適切な社会資源にどうつながるかを実践的に学びあいます。要申込・参加無料。

【詳細】<http://431279.com/event/20160213-2.html>

※ご関心のある方であれば、当事者、一般の方を問わず参加できます

◆主催・お申し込み・お問い合わせ

震災支援ネットワーク埼玉(SSN)TEL 048-829-7400

「日本と原発 4年後」上映会

【日付】2016年3月20日(日)13:30開場

14:00開演

【会場】市民会館うら ホール

【入場料】前売800円

【交通】JR浦和駅西口より徒歩約7分

【詳細】<http://fukusaishien.com/>

◆主催・お申し込み・お問い合わせ

福島原発さいたま訴訟を支援する会 TEL.048-960-0591



首都圏避難者の生活再建への道

～これからの支援活動に求められる「社会的ケア」～

【日時】2月27日(土)12:00開場 13:00開演～17:00

【会場】早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 819教室

(都電荒川線「早稲田」駅より徒歩5分)

【内容】シンポジウムでは、避難者のみなさまの精神的苦痛の要因、取り巻く環境・状況、さらには避難者の生活再建に向けての課題解決のために、地域、社会でどのような取り組みをしていくべきかを探ってまいります。入場無料。

【詳細】<http://431279.com>

3・11を忘れないために自分ができること in 和光市

シリーズ1「和光3・11つながりカフェ」

3/11日(金)13:00～16:30(開場12:30)



サンアゼリア小ホール、無料(先着200名、チケット制)

内容/新潟県中越沖地震から学ぶこと(震災語り部の話)、うたごえ喫茶がやってくる!(ゲスト:ベイビ・ブー)



問合せ/和光市社会福祉協議会ボランティアセンター

048-452-7606

シリーズ2「被災地写真展～双葉ばら園～」

3/8(火)～13(日)9:00～17:00

サンアゼリア展示ホール、無料



シリーズ3「和光3・11を忘れないコンサート」

3/12(土)13:30開演、

内容/2015年5月仙台での「1,000人チェロ」の感動を再び!

費用/1,000円(募金含)

3/13(日)13:00～開演、

内容/慶応志木高校ワグネル、sole、大合唱団、大オーケストラの出演等、

費用/1,500円(募

金含)サンアゼ

リア大ホール

問合せ/和光3・

11を忘れない実

行委員会

090-5793-3800



●福玉募金の送金はこちらへ

郵便振替口座▶ 00160-0-291210

銀行▶中央労働金庫さいたま支店普通預金6600705

銀行振込の場合は、お手数ですが、メール・電話等でご一報ください。領収書等お送りいたします。

問い合わせ▶認定NPO法人ハンズオン!埼玉

TEL048-834-2052 ※寄付金には、税額控除があります。

NHK FMさいたま『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日午後6時～午後6時50分

(FM85.1MHz 秩父83.5MHz)

福島の情報コーナーがあります。
「埼玉で頑張る福玉人」が出演します



☆次回放送は2月23日(火)の予定です。